

## 会 議 録

会 議 の 名 称	第 5 回宜野湾市振興計画審議会
開 催 日 時	平成 29 年 1 月 12 日（木） 開会：9 時 30 分 閉会：13 時 00 分
開 催 場 所	宜野湾市役所 庁議室
出 席 委 員 氏 名	◎瀬口 浩一（琉球大学 法文学部 人文社会科学研究科 教授） ○岩田 直子（沖縄国際大学総合文化学部 人間福祉学科 教授） ・福里 清孝（宜野湾市商工会 会長） ・高江洲 義之（宜野湾市観光振興協会 会長） ・多和田 眞光（宜野湾市社会福祉協議会 会長） ・多和田 眞隆（宜野湾市老人クラブ連合会 会長） ・藤波 潔（宜野湾市 PTA 連合会 副会長） ・大城 ちえ子（宜野湾市自治会長会 会長） ・波平 道子（宜野湾市婦人連合会 会長） ・佐喜眞 祐子（宜野湾市認可保育園長会） ・高里 健作（宜野湾市国際交流協会 会長） ・友利 清和（一般公募委員） ・桃原 幹雄（一般公募委員） ・宮城 邦子（教育委員） ・国吉 孝博（市企画部長）
欠 席 委 員 氏 名	・小野 尋子（琉球大学 工学部 環境建設工学科 准教授）  ※◎は宜野湾市振興計画審議会会長、○は副会長を示す。
事 務 局	《企画部企画政策課》 松本次長、宮城主幹、高江洲技幹、本永係長、仲泊主査、玉寄主事 《ランドブレイン株式会社》 東、石村、野沢
会 議 内 容	1 開会 2 議事（進行：会長） （1）第 4 回審議会における意見の集約と事務局の考え方について （2）最終審議 ①目標 4・基本施策（3）から目標 6・基本施策（3）まで ②重点プロジェクト 3 その他 4 閉会
会 議 資 料	資料 1 第 4 回振興計画審議会におけるご意見の取りまとめ 資料 2 第 4 回振興計画審議会 - 会議録
そ の 他 必 要 事 項	空き店舗対策について資料提供

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>これより、第5回宜野湾市振興計画審議会を開催する。</p> <p>まず、配布資料の確認をさせていただく。</p> <p>また、12月6日から26日の間に実施したパブリックコメントについて、意見が無かった旨、報告させていただく。</p> <p>それでは議事に入る。これ以降の進行は瀬口会長にお願いしたい。</p>
瀬口会長	<p>議事の進行をさせていただく。議事「(1) 第4回審議会における意見の集約と事務局の考え方について」事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>事務局より、資料1に基づき説明。</p>
瀬口会長	<p>事務局より説明があったが、意見はあるか。無いようであれば、了承ということで良いか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
瀬口会長	<p>続いて、継続審議となっている目標4、基本施策「(3) 地域商店街の活性化」以降について審議したいと思う。時間が限られているため、必ずしも基本施策ごとではなく、似通った施策はまとめて審議したい。</p> <p>基本施策「(3) 地域商店街の活性化」について意見はあるか。</p>
委員	<p>「目指すまちの姿」などに「アドバイザー」とあるが、具体的なイメージはあるのか。</p>
委員	<p>一言で「アドバイザー」と言っても多様性がある。幅広く対応できる表現としてほしい。</p>
事務局	<p>担当課に確認し、検討したい。</p>
委員	<p>まちなか再生事業を行ってきたと思うが、成功例はあるのか。</p> <p>45ページ「②商業環境の充実」に、「アドバイザーの派遣や店舗リフォームの助成等、多様な支援」とあるが、実際に可能性はあるのか。</p>
委員	<p>普天間にあるリウボウを核に商店街の活性化を図る、という位置づけがあった。現在そこに行政、商工会が入り、地域の商店街への指導含め、活性化を担うこととなっている。店舗リフォームについては、空き店舗なのか、古くからある店舗なのか、住宅の介護のためのリフォームなのか、どの分野を対象にするのか精査されていない状況である。担当課と事業スキーム踏まえながら、検討していきたい。</p>
委員	<p>商店の人や組合等と話し合いを行い、しっかりとニーズを把握して</p>

	ほしい。この通りだけ、など具体的に成功例があれば、そこを参考に進めてほしい。
事務局	空き店舗対策については、エリアを限定して重点的に対策を行っている。成果を今後分析しながら進めていく。これまでは、市内全域を対象としていたが、より成果を出すためにエリアを絞っている。
委員	商工会に委託することで民間の発想を持ち、空き店舗対策を行っているところである。
委員	45 ページ「①地域の特性を活かした商店街づくりの促進」に「商店街組織の組織化と活動を支援」とはどのようなものか。
事務局	ヒルズ通りで立ち上がった「通り会」に対し、支援を行った。実績として HP の立ち上げがある。
委員	ヒルズ通りでの空き店舗対策は成功した。成功理由として、海軍病院が開業しゲートが開き、外国人がそこを多く利用するという情報が入ったことが挙げられる。現在ゲートは安全性の問題から開けられないとのことである。今後、行政ができることとして、安全性を確保した上でゲートのオープンのための交渉をお願いしたい。
委員	45 ページ「①地域の特性を活かした商店街づくりの促進」の「消費者ニーズを捉え」に関して、TMO（商工会）では、お客さんの年齢層やどこから来たか、など来場者調査を行っている。現在市内の商店街には地域の人の細かいニーズを把握した、大型店舗とは違う、地域ならではの特色が根付いている。そういったことを土台に、さらなる活性化を図るために店舗同士連携した施策も行っていきたい。
委員	空き店舗の定義とは何か。また現在空き店舗は減っているのか。45 ページに空き店舗を減らす目標があるが、多くなっている印象である。
事務局	空き店舗対策については、本計画における目標指標の他に、産業振興計画や総合戦略の中でも取り組みを進めていくものとして位置付けているので、推進していきたい。
委員	顧客単価などを統計していると思うので、TMO に請求すれば資料はもらえる。そういった資料も審議会で見せながら進めてほしい。
委員	商店街活性化について、民間が事業を行うのを待ち、そこに対して支援するだけでなく、イニシアティブを取り市自らが企画し、特定の

	<p>人たちに来てもらう取り組みを進める必要がある。例えば、西普天間で国際医療拠点構想があるのであれば、製薬、医療関係のメーカー等のブランチを置いてもらう仕組み作りや、県外からの事業者が短期的に利用できるスペースを作るなど、政策と連動した企画を考えていただきたい。</p>
瀬口会長	<p>続いて、基本施策「(4) 商工業・情報産業の振興」、「(5) 企業立地と多様な働き方による就労の促進」、「(6) 都市農業・漁業の振興」について、意見はあるか。</p>
委員	<p>48-49 ページに関連したワークライフバランスについて、現在保育が長時間にわたり行われている現状がある。育休から復帰したばかりの頃は、育児のための短時間勤務がなかなか出来ないということがある。就労時間短縮のための、企業に対する支援はあるのか。大企業だけでなく中小企業でもワークライフバランスを進めていけることができるような金銭的な支援はないか。</p>
事務局	<p>現在市で予算化しているものはない。各種制度の企業への周知は行っている。大企業だけでなく中小企業でも就労時間の縮減を促進するためには支援はしていかなければならないと思う。</p> <p>市としては、現在子どもの受け皿づくりに重点を置いている。次の段階として、就労環境縮減に向けた支援は行っていきたい。</p>
委員	<p>ぜひ支援を考えてほしい。困ったときに子どもの面倒を見てくれる人がいない、少ない現状がある。アメリカでは6歳までの子ども達の保育時間などの追跡調査を行っている。保護者のための就労支援について、「主な取り組み」に入れてほしい。</p>
事務局	<p>担当課に確認し、検討したい。</p>
委員	<p>保育園という正規の場所に預けるだけでなく、一時的に助けてくれるような制度がもっと充実すれば良いと思う。事業所内保育も実現できていない。事業所内保育が難しいのであれば、例えば商店街と保育所が連携するなど、保育所と地域の連携の中で子どもを預けられる仕組みを検討いただきたい。</p>
事務局	<p>宜野湾市では地域の人が相互に助け合う仕組みとして、ファミリーサポートセンターがあり、活用している人も多い。</p>

委員	ファミリーサポートセンターの登録は個人である。企業と地域間でも連携する必要がある。
事務局	国の取り組みも踏まえ、市でも多種多様な受け皿作りを進めていきたい。
委員	企業主導型の保育も進んでいる。認可保育園と都市銀行が連携して預けられる場所を作り、地域の人にも使えるようにしている事例もある。
委員	そういった情報を地域の方、企業に周知をしていく必要がある。
事務局	周知はしていきたい。
委員	保育士の労働時間は8時30分から4時30分ということかと思うが、現在実現できていない。自助、共助、公助のことを考えてほしい。
委員	47ページ「②情報産業関連事業者の立地促進」の「主な取り組み」に、「情報通信関連産業の販路拡大支援」とあるが、市としてどのように行っていくのか。
事務局	市にはベイサイド情報センターが立地しており、IT企業の育成支援を行っている。入居企業同士、また市内事業者との連携を考えている。
委員	ベイサイド情報センターでは、IT企業に入居してもらい、育成する目的で設立された。市の直営で行っていたが、有効活用を目指して指定管理者制度としている。指定管理者制度を導入する際に、企業連携も促進してもらおうこととしている。講師を招いた講座や講演など、充実している。成長するにつれ、市内に事業所を置き、事業展開できるよう用地確保に向けた取り組みを行っている。ITに関わる様々な職種の企業を受け入れ、また市内の事業所とも連携することにより販路を拡大していきたいと考えている。
委員	47ページ「②情報産業関連事業者の立地促進」に「オフショア・ニアショアの受注拡大」とある。大きな言葉であるが、市としてどのように支援していくのか。オフショア、ニアショアは大規模な企業でなければなかなか利益が取れない。市内の事業規模等を踏まえた上でどのように支援していくのか、支援のメニューを具体化してほしい。 また、「空き物件の活用」とあるが、空き物件は入居していない現状がある。つまりニーズに合った物件がないということではないか。リ

	<p>ノベーションするなど、ニーズに合った物件を作る必要もあるのではないか。</p> <p>今後 IT の誘致合戦になると思うが、宜野湾市は弱いと思う。現在市内には 18 の IT 事業所がある。宜野湾市は今後どの部分を中心とするのか。コールセンター等、労働集約型で雇用促進するのか、IT の技術を磨き、付加価値を高めるのか、指針が見える形にしてはどうか。</p>
事務局	<p>企業ニーズに合った物件の提供について、必要性は感じている。</p> <p>情報通信産業の方針については、後期基本計画の中で具体的に検討していく必要がある。</p>
委員	<p>情報通信産業の助成制度の方針は非常に重要である。県が企業等向けに作成している「情報通信産業立地ガイド」には、沖縄市やうるま市などの数々の支援メニューの一覧が掲載されているが、宜野湾市は掲載されていない。</p>
事務局	<p>市は情報通信産業振興地域に指定されており、制度の活用も考えている。</p>
委員	<p>情報通信産業振興地域制度で税制優遇措置を受けることができる対象法人は「減価償却資産の取得価額の合計額が 1,000 万円を超えるもの」などハードルが高い。現実ベースで進めていただきたい。</p>
事務局	<p>西海岸の開発も合わせながら、IT 企業の立地促進を検討したい。</p>
委員	<p>47 ページの「③産学官金連携、異業種連携による新事業の創出」について、「新たな商品開発」とあるが、組織化されたものはあるのか。また開発した商品を戦略的販売するためのプロジェクトあるか。</p> <p>例えば市内店舗などで、市の開発した商品を使ったお歳暮の販売ができれば商店街が活性化し、それが空き店舗対策に繋がると思う。「③産学官金連携、異業種連携による新事業の創出」は夢の持てるものである。どう推進していくかのビジョンがあれば聞かせていただきたい。事業間連携を行い、夢を持った取り組みを進めてほしい。</p>
委員	<p>51 ページ「①都市農業の振興」の「主な取り組み」に学校教育、子ども会との連携を入れてほしい。生産者と子ども達との関係の構築という面で、食育との連携についても入れてほしい。子ども会との連携はしていたかと思うので、明記してほしい。</p>

	<p>給食への市内農産物活用という面で、供給量の問題があると思う。徳島県の「葉っぱビジネス」では消費者が欲しいタイミングで商品を供給できる体制を整えている。給食メニューが決まる段階から生産者をお願いしておくなど、仕組み作りを検討してほしい。</p>
委員	<p>50 ページに「本市の農地は「宅地化すべきもの」と位置付けられて」と記載があるが、これは確定なのか。大山も含め現在農業を頑張っている土地がある。そこも今後宅地化していくのか。</p>
事務局	<p>本市はほぼ全域が市街化区域となっており、大山も同様である。その中で保全すべき区域、開発すべき区域のバランスを見ながら検討しているところである。</p>
委員	<p>「宅地化すべき」と表現がある一方「施策の展開」では農業を振興していく方針があり、矛盾している。</p>
委員	<p>本市は市街化区域に位置づけられていることから、農業に関する補助を受けることができない状況である。そういった中で都市農業が必要な部分は継続していきたい。</p>
委員	<p>「宅地化すべき」は厳しい表現に思える。金武町の田芋畑では国の補助を受けながら農業を行い、田芋料理の提供も行っている。宜野湾市の方向性としてどうなっていくのか。後継者を外からも農業に関する人材を呼び込めるように、表現を検討してほしい。</p>
委員	<p>都市農業振興基本計画では、都市農地の位置づけを「宅地化すべきもの」から「あるべきもの」へと大きく転換する方針が出されている。そういった点を踏まえると表現を検討する必要がある。</p>
委員	<p>「宅地化すべき」とあると農業振興と矛盾する。宅地化するのか、農業を継続するのであれば誰がやるのか、整理してほしい。</p> <p>都市型農業とは何を意味するのか、表現を検討してほしい。</p> <p>また、50 ページの「現状・課題」に「農村・漁村」とあるが、漁村はどこを指すのか。</p>
事務局	<p>「都市農業」の表現については検討したい。</p> <p>「漁村」の表現については確認する。</p>
委員	<p>これからの農業は必ずしも土地に縛られないと思うので、そこも検討して進めていけたらいい。</p>

委員	現在、市内に漁業従事者はどれほどいるのか。またどれほどの収益が上がっているのか。
事務局	宜野湾市は、浦添市と漁業協同組合を設立しているため、浦添市と合わせた人数であれば把握できる。
委員	51 ページ「②漁業の振興」について、「安定的な漁業経営や所得の向上を目指す」とあるが、市としてはどの程度関わりを持つのか。
事務局	宜野湾市と浦添市による、漁業協同組合を中心とし、行政も関わった協議会において漁業振興に関する計画を国へ提出する準備をしている。
委員	50 ページ中段「本市の水産業を取り巻く環境」とある。水産資源の減少、燃料の高騰等があり、これが後継者の減少の一因になっている。福岡県宗像市大島では、市が主導して漁協とマリンレジャーが一体となった取り組みを進め、新たな雇用を生んでいる。宜野湾市においても、市が主導となり進めていくべきではないか。
瀬口会長	続いて、目標 5、基本施策「(1) 防災及び救急・消防体制の強化」について、意見はあるか。
委員	53 ページ「①防災体制の強化と避難行動要支援者の避難支援」に関連して、子どもへの防災の教育は重要である。備蓄食料が古くなり、入れ替えのタイミングで給食として提供し、食べながら防災について学ぶなど、ただ捨てるのではなく取り組みを考えてほしい。 また、先日大雨の際に、学校に行く、行かないの判断の連絡が来なかったことがあった。停電対策は非常に重要である。電線の地下化の推進はできないのか。
事務局	備蓄食料については、西海岸における津波避難訓練の際、その参加者に配布している。給食としての提供というご意見は、新しい活用方法の視点として、担当課にお伝えしたい。 電線の地中化は現在、国道 58 号線で行っており、宜野湾市でも行っている。宜野湾市内では、宇地泊から伊佐、中部商業方面では電線の共同化で地中化はしている。
委員	可能であれば、計画にも入れていただきたい。
委員	53 ページの「①防災体制の強化と避難行動要支援者の避難支援」に



	<p>関連して、避難所については確保するだけでなく福祉的な視点が必要となる。高齢者や病気の方等、多様な方に配慮した避難施設の環境の整備も盛り込んでほしい。</p>
委員	<p>53 ページ「①防災体制の強化と避難行動要支援者の避難支援」に関連して、西海岸は海拔が低く、災害時には津波等が想定されているが、イベントの際には、そこに人を呼び込んでいるという状況があり心配な部分ではある。毎年避難訓練は行われているが、健常者が安全な場所まで避難するのに40分かかった。避難としては時間がかかりすぎている。近くに高いところということで、大型商業施設などに聞いてみたが、市とは提携していないとのことである。早急に提携し、より近く高い避難ビルの指定を行ってほしい。</p> <p>また、災害時の情報伝達手段について、民間のラジオ局等と連携し、家にいる人、耳の遠い人、運転している人などがいつでも情報を把握できるように検討してほしい。</p>
委員	<p>地域では年寄りの方が家を締め切っている場合もある。各家庭に届く情報伝達手段について検討してほしい。</p>
委員	<p>携帯電話に災害情報が届くようになっているのか。</p>
事務局	<p>ドコモ、au、ソフトバンクとは提携している。</p> <p>防災避難ビルの指定については、指定箇所拡大に向け、今後も進めていきたい。また、避難支援が必要な方の台帳作りにも取り組んでいる。支援が必要な人の登録は簡単だが、誰が支援するのかについては、課題と考えている。情報伝達手段、避難経路の確保、避難所の環境の整備等についても進めていきたい。</p>
委員	<p>毎年自治会でも避難訓練を行っている。担当を決め、要支援の方の安否確認を行うこととしている。しかし、自治会への未加入者が多いという課題はある。</p>
委員	<p>53 ページ「①防災体制の強化と避難行動要支援者の避難訓練」に関連して、「主な取り組み」の「災害情報伝達手段の多様化及び強化」の中に含まれると思うが、外国人や障がい者など、多様なニーズに対応した伝達手法についても文言に追加してほしい。</p>
瀬口会長	<p>市役所の自家発電はあるのか。</p>

事務局	非常用の電源装置がある。
委員	現在市で備蓄食料をどの程度持っているのか。
事務局	平成 27 年現在 9, 600 食であり、今回の計画で備蓄食料の数を伸ばしていくことを目標指標として掲げている。
委員	那覇市などでは、公園の地下に備蓄食料を保存している。参考にしてほしい。
事務局	備蓄食料の整備においては、平成 25 年に「平成 25 年度沖縄県地震被害想定調査」を行っており、それに基づいた西海岸エリアの最大避難者数 3,071 人の三食三日分は備蓄することを目標としている。
委員	防災について、普天間小学校では航空機事故に備えた避難訓練を行ったと記事に載っていた。とても重要なことだと思う。「防災及び救急・消防体制の強化」に書くべきなのか、「基地問題への対応」に書くべきなのかわからないが、航空機事故が起こった時の対応を明記しておいた方が良いのではないか。
事務局	様々な事故の危険性があることは十分認識した上で、あえて「航空機事故」と直接表記はしない方向としたい。
瀬口会長	続いて、基本施策「(2) 交通安全・防犯対策の強化」について意見はあるか。
委員	55 ページ「①交通安全対策の強化」に関連して、現在子ども達の登校時には安全指導をしていただいている。下校時に不審者も目撃されていることから、安全対策のため関係機関の協議の場を設ける取り組みを入れてほしい。
事務局	ご提言として担当部署に伝えたい。
委員	学校によっては地域の老人会や公民館と連携して、子供の下校時に見回りを行う等しているところもある。
委員	学校区によっては、地域の商店街と連携し、取り組んでいる例もある。暗い通り、危ない通りなど下校する時に危険な場所は把握している。協議体を持つ方向で進めていただきたい。
委員	子供の安心安全の確保という点で、地域等と連携した体制が出来れば良いと思う。
委員	55 ページ「②防犯対策の強化」の「主な取り組み」に「防犯の強化・

	<p>拡充」を入れてはどうか。</p>
事務局	<p>54 ページの現状・課題に「今後も、各種関係機関と連携し、さらなる防犯対策の強化が必要」とあるので、主な取り組みに追加できないか検討したい。</p>
委員	<p>交通安全と防災に関連して、我如古地域などでは区画整理が進んでおらず、消防車も入ることができない、歩道に余裕がない等問題がある。区画整理に対する現状・課題も入れた方が良くはないか。</p>
委員	<p>最近、教育委員会が徒歩登校を促しているが、徒歩登校にふさわしくない道路が多くある。ぜひハードの取り組みを進めてほしい。</p>
委員	<p>道路渋滞回避のために、小さな道路に車がどんどん入ってくるため、道路の安全性を高めるためにも道路計画を早く進めてほしい。</p>
事務局	<p>道路の安全性を高めるための整備は、すぐにはできない状況にある。可能な限り、歩道を確保するための取り組みを行っているところであり、ソフト面の対策を合わせながら全体的な課題として進めていきたい。</p>
委員	<p>道路整備については、道路の白線が消えている等市民の要望があっても中々進まない現状がある。なるべく早く進めていただきたい。</p>
委員	<p>歩道があっても雑草が生え、犬の糞が落ちていることがある。道路環境の整備も合わせて進めてほしい。</p>
瀬口会長	<p>続いて、基本施策「(3) 環境保全と循環型社会の形成」、「(4) 公害・環境衛生対策の推進」について意見はあるか。</p>
委員	<p>57 ページ「①環境思想の普及・啓発」の「主な取り組み」に「学校での環境教育の充実」が挙げられているが、大人に対する環境配慮の呼びかけも重要である。</p>
瀬口会長	<p>続いて、基本施策「(5) 快適な生活環境の整備」、「(6) 交通ネットワークの整備」、「(7) 上・下水道の整備」、「(8) 公園・緑地及び墓園等の整備」について意見はあるか。</p>
委員	<p>67 ページの「③緑化の推進」に関連して、屋上緑化は市として取り組む予定はあるのか。長田小学校やはごろも小学校などではグラウンドを芝生にしているが、他の小学校ではそのような要望はないのか。</p> <p>緑化は景観というよりは建物の温度を下げる等、環境の視点からの配</p>

	慮である。
事務局	学校の芝生化はグラウンド全てではなく、一部土を残しているところがある。
委員	<p>緑化は重要である。国道 58 号線から歓会門通りまでは、以前は高木が植えられていてその下にシャリンバイの植え込みがあった。しかしシャリンバイが無くなってしまった。維持・管理の予算面の問題があるかと思うが、観光面においても都市、道路の緑化は重要だと思う。</p> <p>過去には低木があったがなくなり、代わりにコンクリートが置かれており、非常にもったいなく感じた。</p>
事務局	道路の緑化については議論しながら進めているところである。
委員	大山小学校の近くにできたハルヨイ橋の境目には、フクギが植えられている。学校にも植物がもっと植えられれば、景観的に良くなると思う。
委員	<p>宜野湾市のサンダンカがあるが忘れられている。そういったものをぜひ広めてほしい。自分たちの地域は自分達できれいに、という意識作りがもっと進めば良い。</p> <p>婦人会では、以前は花を各地域で植え、その花の評価をする、また自分の庭を見てもらうなど行っていたが今は少なくなっている。そのあたりも市がリードして進めてほしい。</p>
事務局	住みよいまちづくりを目指して、取り組みを進めていきたい。
委員	<p>67 ページ「①都市公園の整備」の箇所になるかと思うが、遊具の設置について、保育園などでニーズを把握し、木材の再利用等を行いながら、木の温かみのあるものを整備してほしい。</p> <p>公園の整備について、団体に清掃ボランティアのような形でお願いをするなど、工夫してみてもどうか。</p>
委員	67 ページ「④墓園・墓地霊園の整備」について、火葬場の整備についても盛り込んでどうか。
事務局	火葬場については、5 市町村での共同設置に向けて動いていたが、地域からの反対もあり、協議体が解散した経緯がある。しかし、ニーズはある。全域が市街化区域に指定されている本市において火葬場建設用地を探すのは大変であるが、進めていきたい。今回の計画の中では「検討」といった形の表現になると思うが、記載したい。

委員	67 ページの目標指標に「市民 1 人あたり公園面積」を増やすとある。人口が増加する中、新たな公園整備の計画はあるのか。公共施設は今後削減していく方針も掲げられている。
事務局	佐真下地区において土地区画整理事業を行っており、そこで公園の整備を計画している。
委員	<p>「①都市公園の整備」に関連して、宜野湾市の飲食店情報マップを載せる際にバリアフリー対応かどうかを記載することがある。那覇市に障がい者のバリアフリーについて問い合わせてみると、近隣の公園にバリアフリー対応のトイレがあれば、その周辺の飲食店もバリアフリー対応の店舗として認定されるとのことである。</p> <p>現在、市には公園内のバリアフリー対応トイレはいくつあるのか。バリアフリー対応の公園の数に地域格差があると、この地域には住みにくい、ということになるので、格差が出ないように検討してほしい。</p>
事務局	ご提言として、担当部署に伝えたい。
委員	<p>61 ページ、「目標指標」の「長寿命化修改善事業実施済み住棟数」は何を指すのか。市営住宅なら、そのように記載した方がよい。</p> <p>「③住宅・住環境の整備」に関連して、「取組方針」に「住宅の耐震化率向上を支援します。」とあるが、どの住宅を指すのか。新築住宅か既存住宅かが分かるように表現してはどうか。</p>
事務局	担当課に確認し、検討したい。
委員	61 ページ「③住宅・住環境の整備」に関連して、住居表示の整備率は現在どの程度なのか。
事務局	整備率としてデータは今持っていないが、23 区域の内 17 区域で住居整備を行っている。佐真下地区でも行う予定である。
委員	63 ページ「④新交通システムの構築」に関連して、コミュニティバスは実施したのか。
事務局	検討には入ったが、実施までは至っていない。
委員	63 ページ「③幹線道路の整備」に「安全性の向上等も考慮した整備を進めます」とあるので、例えば「見通しの悪い交差点の改善」など、「主な取り組み」で具体化した取り組みを書くことはできないか。維持管理整備計画もあるので取り組みを抽出して入れてはどうか。

事務局	「主な取り組み」にて記載できるかどうか、担当課と確認したい。
委員	64、65 ページは上下水道整備について書かれている。基地があるため、高いと聞いたことがある。高いのであれば市として対策が必要ではないかと思う。
事務局	上下水道の使用料は、実情を踏まえ改定等検討も必要と考えている。
瀬口会長	続いて、基本目標 6、基本施策「(1) 基地問題への対応」、「(2) 基地跡地利用の推進」について意見はあるか。
委員	68 ページの「現状と課題」に「強行配備される」とあるが、どこに対して「強行」なのか。市民に対してか、市に対してか、国に対してか。
委員	対概念の提示が必要ではないか。「県民に対して強行配備」など。
事務局	担当課に確認し、表現を検討したい。
委員	69 ページ「①普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還の実現に向けた取り組み」の「主な取り組み」に「市民意見の集約と、返還促進に向けた市民との協働による取り組みの実施」とあるが、具体的に行う取り組みはあるのか。市民全体で市が主体となって行う取り組みはできるのか。
事務局	反対要請行動ということで、市内各種団体代表とともに、反対表明、反対行動を行っている。
委員	施策名に「一日も早い返還」ということであれば、市全体で返還運動などに取り組む必要があるのではないかと。反対要請行動を行った結果どうなったか、ということが市民には見えない。市民が主体になって、市長も含めて行動を起こす必要がある。
事務局	ご提言として、担当部署へ伝えたい。
委員	基地被害 110 番があるが、何かあっても実際に電話する方が少ない現状があるので、ヒアリングなども行い、現状を把握する必要がある。
委員	70 ページ「現状と課題」に「県と共同」で跡地利用計画を策定するとあるが、県の方に聞くと、市と違う方向性を向いた話をしてきた。市の見解として、どのようなものを持っているのか。
事務局	跡地利用については県とは同じ方向性を向いている。統合計画をもとに、宜野湾市だけでなく県も含めた広域なレベルで計画を進めていくことを考えている。
委員	70 ページに跡地利用のことが書かれているが、例えば「キャンプ瑞

	慶覧は東京ドーム 11 個分」など、市民に分かりやすいよう表現の工夫をしてみてください。
事務局	一口メモにて、検討したい。
委員	69 ページ「②普天間飛行場が返還されるまでの間の危険性除去及び基地負担軽減の実現に向けた取り組み」の「主な取り組み」に「基地負担軽減促進対策の実施」とあるが具体的にどういったことを行うのか。
事務局	取り組みの内容として「基地負担軽減推進会議」を開いており、市長、県知事、首相などで構成されている。そういった会議体を活用し、基地被害の現状や市民の声を伝えている。意見交換の場である。
瀬口会長	最後に基本施策「(3) 平和行政の推進」について意見はあるか。
委員	那覇市観光協会と協定を結び、修学旅行生を対象に学習プログラム支援を行ったことがある。沖縄国際大学の航空機墜落現場と嘉数高台公園で現地ガイドを行い、意見交換会を実施するプログラムであった。嘉数高台公園は整備されていて良かったが、リーフレットがない。新しいリーフレットを作成し、小中学校への情報提供も含め、戦争そのものだけでなく戦後の宜野湾市のことを知る機会の提供を行ってはどうか。戦後体験から平和を考える視点を持ってはどうか。
事務局	戦争体験者からお話しを聞く機会が徐々に少なくなっている現状がある。戦後体験も含めた中で平和を考えるということについて、担当課に伝えたい。
委員	戦後体験学習は学校現場でもなかなかできない。ぜひ宜野湾市史を活用してほしい。子ども、学生も読める形で市史を編集して行ってほしい。市史を身近に感じることができる機会の提供をお願いしたい。
委員	自治会においても平和学習の受け入れは行っている。映像資料等、提供いただきたい。
委員	市内には平和学習に関わっている方がたくさんいると思うが各々で活動している印象がある。普及啓発に向けて、関係する人が集まって話せる場、協働することができる場を作ることも重要かと思う。
委員	平和学習に関連して、平和観音像を作られた先生がいる。そういったものが作られた経緯、ストーリーがあるので、平和学習に取り入れてほしい。

事務局	ご提言として、担当部署へ伝えたい。
瀬口会長	それでは、最後に 5～9 ページの「重点プロジェクト」について事務局より説明願いたい。
事務局	事務局より、重点プロジェクトについて説明。
瀬口会長	ただいま事務局より説明があったが、意見はあるか。
委員	「子ども成長支援プロジェクト」のイメージ図について、「幼児期」から「高校生・大学生」まで成長段階が分けられているが、0歳からを対象とする取り組みがあるのであれば、「乳幼児期」という表現がよいのではないか。確認してほしい。
委員	5 ページに「目標 1 市民と行政が協働するまち」とあるので、市民がやるべきことを明確にした方がよいのではないか。 「生活安全・安心プロジェクト」の重点的な取り組みに「地域での支え合いをサポートする拠点等の確保」とあるが、今ある児童センターなどの活用も視野に入れてほしい。
委員	「子ども成長支援プロジェクト」のイメージ図について、ハード面の取り組みに「学校等施設・設備の充実」が挙げられているが、学校施設は福祉に関する子どもの情報のプラットフォーム化の取り組みの方針も出されている。「学校はハード面の整備だけすれば良い」と誤解を与える恐れがあるため、プロジェクトのイメージを修正してほしい。
委員	いじめに関する内容は入っているのか。
委員	重点的な取り組み「教育相談・支援体制の推進」に含まれるのではないか。
事務局	施策の展開としては「3-(1)-②豊かな心・健やかな体の育成」に含まれる。言葉としては表現されていない。
瀬口会長	最後に、全体を通して意見はあるか。
委員	重点プロジェクトは、横断的に取り組みを行うという面において新たな取り組みになるかと思う。 そうした中、計画、事業を実現するために、財政調整機能として新たなシステムを構築する必要がある。予算の一部は重点プロジェクトに配分するなど、検討してほしい。 重点プロジェクトは横断的なプロジェクトとなるため、総合的なとり



	<p>まとめの政策調整機能の充実を検討していただきたい。課題を各課で共有できるなど、柔軟なシステムを構築して進めてほしい。</p>
委員	<p>フォローアップ機能を充実させてほしい。内部評価だけでなく、外部評価システムの面において、市民の声をしっかり把握し、取り組んでほしい。</p> <p>今回の審議会のスケジュールはあまりにもタイトである。もう少しゆとりをもったものとしていただきたい。</p>
瀬口会長	<p>時間なのでこれにて議事は終了したい。今後は事務局にて第3回から今回の審議会ですでにいただいた意見を取りまとめ、提言事項として市長へ答申する流れとなるが、良いか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
瀬口会長	<p>続いて、第4回審議会の会議録について、修正はあるか。</p>
事務局	<p>修正について、承知した。(※2名の委員より指摘有)</p>
瀬口会長	<p>続いて事務局より事務連絡をお願いしたい。</p>
事務局	<p>今回の審議会ですでにいただいた意見に対する事務局の考え方及び会議録については郵送させていただく。修正等があればご連絡願いたい。</p> <p>第四次宜野湾市総合計画基本計画の原案については、審議会での提言事項を添付し、1月13日に答申を行う。その後1月19日の庁議にて審議会の答申を踏まえた基本計画を決定し、市議会定例会へ議案提出する。成果品については出来上がり次第郵送させていただく。</p>
事務局	<p>最後に主幹の宮城より挨拶させていただく。</p> <p>5回に渡り、ご審議いただき誠にありがとうございます。各専門分野からの鋭いご指摘、ありがとうございます。市政に対する熱い思いを感じると同時に期待の表れであると思うので、しっかりしたまちづくりを行っていききたい。</p> <p>今後この計画は市議会にて審議される。お時間ございましたら議会の傍聴をしていただければと思う。</p> <p>今後とも市政運営に対するご理解ご協力をお願いします。</p>
瀬口会長	<p>これにて審議会を閉会する。</p>